

工務店ネットワークのIT化促進で経済産業大臣表彰 アキュラシステムで貢献

住宅建築会社のアキュラホーム(本社:埼玉県さいたま市、社長:宮沢俊哉)が情報化月間(経済産業省をはじめとする6府省で推進)の10月3日、「情報化促進貢献企業」として「経済産業大臣表彰」を受章いたしました。今回、物づくり関連の企業としては唯一の受章です。1995年に住宅建設合理化で建設大臣表彰をいただき、今回のことでソフト・ハードの両分野で大臣表彰をいただいたこととなります。

IT活用に後れている住宅建築業界からの受章

今年には政府が推進するe-Japan計画「世界一のIT国家になる」の目標年でもあり、その年にこの表彰をいただけたことは大きな意味があります。「情報(IT)化促進貢献企業」として当社は自らのIT活用に加え、後れている住宅建築業界でのIT活用促進に顕著な貢献があったということで経済産業大臣表彰を受章いたしました。

物づくりの企業としては唯一の受章

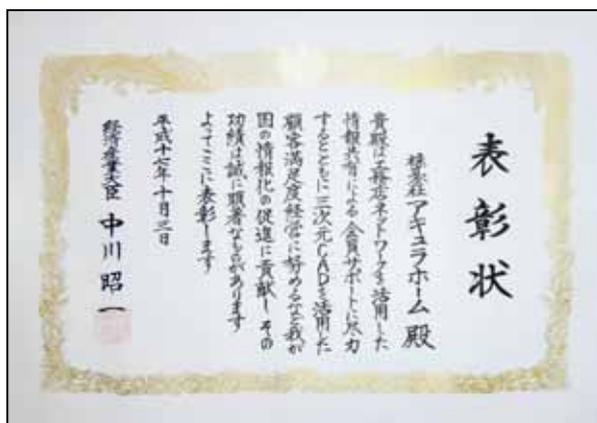
他の受章企業はソフトウェア開発や通信インフラ関連の企業等でありITの最先端を行くイメージですが、当社は物づくりの現場での活動そのものを細かく評価していただいています。

今回の表彰にあたり評価された業績

弊社で主宰する全国展開工務店ネットワーク内でのIT活用や、顧客動向情報、住宅契約状況、販促資料などの共有化による迅速で正確な会員サポートで業界情報化に貢献し、ホームページ上における顧客への3次元CADによる図面の無償提供による住宅作り支援等、顧客満足度経営を実践し、情報化に貢献した、ということです。

アキュラシステムによるIT活用の推奨

弊社が1994年から全国の工務店等に供給している「住宅建築合理化システム」の「アキュラシステム」はすでに2350社を超える工務店等に活用されており、その主要構成要素であるデータベースと見積もりシステムはIT活用と組み合わせることにより旧態依然とした工務店経営を現代企業への体制に転換させ、業務効率を飛躍的に向上させ、低価格と顧客満足をはかりました。



2005年 経済産業大臣表彰



1995年 建設大臣表彰

ジャープネット（旧アキュラネット）によるスケールメリットとツールやナレッジの共有化による効率化経営アキュラシステムを活用している 600 社あまりの工務店を核として活動しているジャープネット（旧アキュラネット）では、年間 1 万棟近い住宅供給量を背景にスケールメリットの追求（共同仕入れによるコストダウンなど）と情報の共有化を進めてまいりました。特にツール類はインターネットの普及とともにデータでの共有化がすすみ、顕著な例ではイベント用の折込みチラシのデータを事務局から提供し、地域特性に合わせて会員企業がカスタマイズして利用するようなことが通常のスタイルになっています。

ソフトとハードの両分野で大臣表彰

アキュラホームは 1995 年に住宅建築の合理化について建設大臣から表彰していただきました（建設省住宅建設コスト低減提案コンペ）。そして今回は情報化技術の促進において経済産業大臣から表彰をいただき、住宅というハードと IT というソフトの両分野で大臣表彰をいただくことができました。

これからの企業運営にソフトとハードがバランスすることは大変重要なことと日常の活動でも心がけて参りましたので、今回の受章を契機にそれぞれをより高い領域に進化させて行きたいと考えております。

資料 1 平成 17 年度情報化月間について（2005 年度情報化促進貢献企業一覧含）

<http://www.meti.go.jp/press/>

から「05/09/15 平成 17 年度情報化月間について」をクリックしてください。

資料 2 建設省住宅建設コスト低減提案募集について

建設省が 1994 年に発表した「住宅建設コスト低減に関するアクションプログラム」のリーディングプロジェクトの一つ。「断熱性能、高齢者への配慮等基本性能を備え、居住者のライフステージやライフスタイルの変化に応じて、内装等を居住者自らが DIY 方式によって追加・変更できる仕組みを持つとともに、住宅建設コストが従来の 2 / 3 程度に低減されている住宅」と定義される住宅提案を競うもの。アキュラホームは基準をクリアした上に、住宅建設コストでは目標を大きくコスト 1 / 2 を実現して入選。

資料 4 アキュラホーム・ジャープネットについて

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダーです。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆使することでお客様本位の高品质でありながら坪 30 万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしています。また、全国の地域ビルダー・工務店約 606 社によるネットワーク「アキュラネット」(JAHbnet ジャープネット)を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入しています。特に、2001 年に坪 21 万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱（次世代省エネ）住宅、太陽光発電搭載住宅、オール電化住宅などを相次いで坪 30 万円以下で発売し話題を集めました。

これらの活動は国土交通白書に紹介されたり、経産省のプロジェクト「次世代省エネ住宅普及促進研究会」に招聘されて普及価格帯の次世代省エネ住宅の実現に貢献するなど、官公庁からも注目されています。

ジャープネット（JAHbnet）

1978 年の創業以来、高品質で低価格な住宅の供給に取り組み、94 年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を全国工務店に供給開始し、現在 2350 社以上の工務店に導入されています。98 年に（財）日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに約 7 年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供してきました。

アキュラネットには 600 社あまりが加盟し、2004 年度の木造住宅累計販売棟数は 8213 棟、フランチャイズチェーン・ボランタリーチェーンの販売棟数ランキングで 1 位 となっています。こうして技術力のある地域工務店・ビルダーが集まることでスケールメリットを創出し、加えて第三者機関による工事検査や住宅保証制度による保険、建設前の地盤調査などを実施することで、良質・低価格・安心の制度を確立しました。

そして2005年9月16日よりお客様の多様なニーズに応えるために、名称を「JAHBnet(ジャーブネット)」と変更し、**業種の壁を超えた新しい連携を取り入れ**、より理想に近い住宅供給を実現する次世代型住宅供給ネットワークとして生まれ変わりました。 住宅産業研究所調べ

<アキュラホーム会社概要>

社名 株式会社アキュラホーム
代表取締役社長 宮沢俊哉
所在地 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-16 シーノ大宮ノースウィング 15 階
電話 048-631-2333 (代)
創業 1978 (昭和 53) 年 9 月
資本金 9,314 万円
従業員数 307 名(05 年 4 月 1 日現在)
事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高 107 億円(2005 年 2 月期)
ホームページ <http://www.aqura.co.jp>

本リリースは「国土交通記者会」、「国土交通省専門紙記者会」にて配布しています。
写真データは下記 URL よりダウンロードすることができます。
URL : <http://www.aqura.co.jp/news.html>

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越

Email : horikosi@aqura.co.jp TEL : 048-631-3020 (ダイヤルイン) FAX : 048-631-2334